



議会だより



第48号の掲載内容

- 第4回定例会、
第3回臨時会の概要…………… 2 P
- 委員会の活動…………… 3 P～4 P

1月10日～13日までの4日間、七飯スノーパークにおいてチャレンジスキー・スノーボード教室が行われ、園児及び小学生31名が参加し、滑り方等の技術指導を受けました。子供たちは、寒さを忘れ雪の感触を楽しんでいました。

平成23年第4回定例会は、12月8日に招集され会期を2日間と決め町長の行政報告のあと、議案4件、意見書案1件の審議を行い、全て原案のとおり可決し会期を1日残して閉会しました。なお、審議された議案の主な内容は、次のとおりです。

- 平成23年度一般会計補正予算2,918万4千円を議決
民有地購入費449万2千円、戸籍システム改修費313万8千円、地図情報と連携したネットワーク型システム導入費530万3千円、介護保険事業特別会計繰出金713万6千円等
- 平成23年度介護保険事業特別会計補正予算2,810万2千円を議決
介護サービス等給付費1,866万1千円、高額介護等サービス費208万2千円等

◎ 条 例

△鹿部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

改正内容は、介護保険事業の地域密着型サービスの適正な運営のため設置される鹿部町地域密着型サービス運営委員会の委員報酬を本条例に追加したものです。

◎ 補正予算

△平成23年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ2千9百18万4千円を追加し、予算総額を28億3千63万円としました。

内容は、民有地購入費4百49万2千円、戸籍システム改修費3百13万8千円、ネットワーク型システム導入費5百30万3千円、介護保険事業特別会計繰出金7百13万6千円、給食センター備品購入費3百67万5千円の追加が主なものです。
△平成23年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について
保険事業勘定に歳入歳出

それぞれ2千8百10万2千円を追加し、予算総額を2億9千5百49万5千円としました。

◎ 契 約

△工事請負契約の締結

【工事名】
漁業系廃棄物リサイクル施設改修工事（建築主体工事）



【契約金額】

4千7百19万7千5百円

【契約の相手方】

森川・徳・佐藤工務店特定建設工事共同企業体

◎ 意見書の提出

次の意見書を可決し、関係省庁等へ提出しました。



◇環太平洋経済連携協定（TPP）に反対する意見書

【提出先】

衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、外務大臣
経済産業大臣、農林水産大臣

【以上5件、原案とおり可決】

第3回臨時会

第3回臨時会は、11月28日に開催され、次の案件について審議されました。

◎ 条 例

△鹿部町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

内容は、人事院勧告に基づき給料月額を平均0.23%引き下げるもので、中高年齢は最大0.5%の引下げとなりますが、若年・中堅層については、給与の引下げを行わないものです。

◎ 補正予算

△平成23年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ72万9千円を減額し、予算総額を28億2百44万6千円としました。

主な内容は、人事院勧告に伴い減額となった職員の給与改定を行ったものです。
△平成23年度鹿部町水道事業会計補正予算について
収益的支出に51万1千円を追加したものです。

内容は、人事院勧告による職員の給与改定と昇格に伴う人件費を追加したもので、これにより、収益的支出の総額は8千9百9万2千円となりました。
【以上3件、原案とおり可決】

民生文教常任委員会所管事務調査

◇構成委員

委員長 浦 梅吉、副委員長 船橋 敦子

委員 盛田 鐵次、委員 朝井 翔二、委員 野田 重毅

◇調査事項

鹿部町社会福祉協議会への補助及び委託事業等の内容と現状について

◇調査実施日

平成23年10月17日

◇調査方法

担当課より、提出された関係資料に基づき調査を実施した。

◇調査結果

社会福祉協議会は、全国の都道府県団体で誕生したのが始まりとなっており当町では、平成3年4月5日に設立され現在、事務局長1名、事務職員2名、専従ヘルパー2名、非常勤ヘルパー5名の10名体制で、地域福祉活動の中核的な役割を果たす町民に最も身近な支援活動を行う団体として様々な福祉活動を実施している。町では、社会福祉協議会への補助として人件費を助成している。

平成21年度は事務局長1名、事務職員2名分で6,190,725円、平成22年度からは、事務局長1名、事務職員2名分で9,723,886円を補助している。また、今年度は、10,924,000円の予算が

計上されている。なお、ホームヘルパーの人員費については、社会福祉協議会で賄っている。

委託している事業は、地域自立支援事業及び高齢者の生きがいと健康づくり推進事業（高齢者運動会）で、地域自立支援事業は、介護

保険の対象とならない65歳以上の独居高齢者世帯及び夫婦世帯の方を対象としてホームヘルパーによる日常生活の支援サービスを行う事業で、主な内容は町内医療機関及び公共施設への移送サービスの他に独居高齢世帯を対象とした安否確

認等を行っており、現在29名の方々が利用している。高齢者の生きがいと健康づくり推進事業（高齢者運動会）は、今年度から名称を改め元気もりもり運動会として開催されている。この事業は、高齢者の孤立化を解消し、社会活動に参加することを目的に実施されているもので、今年は130名の方々が参加している。これら事業の委託料として平成23年度は2,645,000円の予算が計上されている。

社会福祉協議会では、地域住民をはじめ町、福祉施設、福祉サービスを提供する事業者など地域のあらゆる団体と協働を図りながら様々な福祉活動を実施し、住民福祉の増進に努められているところであるが、これら事業の内容や利用の仕方等を理解していない住民も見受けられることから、町広報等を活用しPR活動を積極的に進められたい。また、町民の誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりが更に推進されることを望むものである。



10月に開催された元気もりもり運動会

総務経済常任委員会所管事務調査

◇構成委員

委員長 中川 一、副委員長 川村 裕司
委員 伊藤 辰男、委員 佐藤 頼幸、委員 竹ヶ原公勝



施設の外観と館内図



A～D展示室、E体験室、F道の駅

◇調査事項

函館市縄文文化交流センター及び縄文ロマン「道の駅」南かやべの視察について

◇調査実施日

平成23年10月18日

◇調査方法

現地視察を実施した。

◇調査結果

施設の総事業費は、6億7,600万円で、鉄筋コンクリート造りの2階建てになっており延べ床面積は、1,733㎡(約525坪)である。

館内には4箇所の展示スペースが設けられており、

南茅部地区の遺跡から出土された土器や石器等の他に国宝に指定された中空土偶が展示されている。

入館料は、一般(大人)300円・団体(20名以上)240円、学生・生徒・児童は個人150円・団体(20名以上)120円となっており、小学就学前の子どもは無料である。

縄文文化交流センターには、縄文ロマン道の駅南かやべが併設されており、特産品の販売スペースや地域の観光及び道路状況の情報を発信するエリアが備えられている。

また、縄文時代の博物館と道の駅機能を併せもった国内唯一の国宝のある道の駅となっている。

現在、国道278号鹿部バイパス道路の整備が実施されているが、数年で完成する予定となっていることから、これらの施設とともに道南圏における国道278号線沿いの観光ルートが確立され、当町の観光客増加につながることを期待するものである。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は、**3月上旬**に開催される予定です。

～傍聴手続きは簡単です。～

傍聴席の入り口にある傍聴人名簿に住所と氏名を記入するだけです。